

日本人選手に今年も注目！ **ブロードモア・パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム**

コロラド州コロラドスプリングスで開催されるオートレース、「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム(PPIHC)」が6月29日(日)に開催されます。別名「雲へ向かうレース Race to the Clouds」とも言われるこのレースの舞台は、富士山よりも高い標高4301mのパイクスピークです。標高2,862mからスタート、156箇所の激しいカーブをへて、頂上までの約20km、実に標高差1,439mのコースを走り抜けます。1916年に始まり、全米ではインディ500に次いで歴史のあるレースで、今年にはスポンサーとなる最高級リゾートホテル、ザ・ブロードモアを冠名にかかげ、ブロードモア・パイクスピーク・インターナショナルとして、第92回目を迎えます。

空気の薄い高地でのレースはエンジンの馬力も30%程度になり、マシンの準備や調整にも高度のスキルが要求されます。EV(電気自動車)、四輪、二輪など、また、最高峰とされる改造無制限クラスなど様々なクラスでスピードを競い合います。2013年の大会では、その改造無制限クラスで、WRC(世界ラリー選手権)王者であるセバスチャン・ローブ選手(プジョー208T16 パイクスピーク)がPPIHC初挑戦にして、大会新記録の8分13秒878で総合優勝しました。コース全長は20km以上ですから平均140km以上で走り抜けたこととなります。

毎年、日本人選手もPPIHCに参戦しており、今年も日本人選手の活躍に目が離せません。特に、PPIHC総合優勝の常連でもあり、昨年はオリジナルEVマシンE-RUNNERパイクスピーク部門で、9分46秒530の好タイムで優勝した(総合5位)モンスター田嶋こと田嶋伸博選手は注目です。今年も改良を加えたGitiタイヤでEVクラスからの総合優勝を狙います。また、14歳にプロドライバーとなり、16歳で日本のD1グランプリとアメリカのフォーミュラ・ドリフト・チャンピオンシップに最年少で出場、現在は27歳となったKen Gushi(具志健士郎)選手の活躍も期待されています。昨年は、レクサスISF CCS-Rでエグゼクション・オートクラス優勝を飾りました。具志選手は4回目のチャンレジとなる今年、Scion FR-S(TOYOTA86の米国仕様モデル)でタイムアタック1部門に参戦します。

舞台となるパイクスピーク・ハイウェイは、決勝日の29日(日)は終日封鎖となります。練習と予選はその前の4日間を使って行われますが、練習時間は一般観光客向けにハイウェイがオープンされる朝9時までの時間のみと、限られた練習、予選時間の中、多くのドライバーがしのぎを削ります。予選、決勝の見学にはチケットが必要です。決勝日のレースチケットは前売りが40ドル、当日券が50ドル、また4日間の練習と決勝日の観賞チケットがセットになった120ドルのウィークリーパスもあります。詳細はPPIHCのホームページをご覧ください。<http://www.ppihc.com/>



コロラドスプリングス市内のメモリアル公園から望むパイクスピーク

©VisitCOS.com



疾走するマシンの迫力が感じられる

©VisitCOS.com

ザ・ブロードモアについて:

1918年にオープン、アメリカ西部のゲートウェイとして名高いコロラド州コロラドスプリングスにある最高級リゾートホテルで、トリプル A ファイブ・ダイヤモンド・アワードとフォーブス・トラベルガイドの 5 つ星を同時受賞するという栄誉を最も長く保持しています。主要エアラインが就航するコロラドスプリングス空港から車で 15 分の場所にあり、1,215 万平方メートルの敷地内には、新しいコテージスイートを含む 770 室以上の客室とスイートと 17,200 平方メートルのイベントスペースがあります。加えて、5 つ星のスパやフィットネスセンター、3 つのチャンピオンシップ・ゴルフコース、テニスコートを有し、26 のブティックや 19 のレストラン、カフェ、ラウンジでは特別なお料理を提供しています。

コロラドスプリングスについて:

コロラド州コロラドスプリングスは州都デンバーにつぎ 2 番目に大きな街です。人口 43 万人が暮らす標高 1839m 洗練されたリゾート地で、国際級のアトラクションが数多くあります。国立自然ランドマークに登録されているガーデン・オブ・ザ・ゴッズをはじめ、自然の鉱泉が湧き出すマニトウスプリングスの街があり、また標高 4,302m のパイクスピークまでは鉄道で登ることができます。歯車を使った鉄道としては世界一の標高の高い場所まで行く鉄道として人気を集めています。アクセス:デンバーから南に約 112km、車で約 70 分。

コロラド州について:

アメリカの屋根とも言えるロッキー山脈に広がるコロラド州は標高が高く、州都デンバー市は 1600m、郊外には日本のアスリート達が高地トレーニングを行うボルダー市があります。州の観光資源を代表する国立公園は 4 つあり、そのうちの一つメサベルデ国立公園は世界文化遺産です。コロラド州は、初夏には色とりどりの高山植物が美しく咲き乱れ、秋はアスペンの森が山々を黄金色に染め、冬にはワールドクラスのスキーが楽しめるといった、四季それぞれの魅力があふれています。数々の鉄道、サイクリングやハイキングのアウトドア、そして、あちらこちらに湧き出る温泉や鉱泉など様々なアトラクションの選択肢があるのも特徴です。また、ロッキー山脈から湧き出る美味しい水を使った地ビール、地産地消の新鮮なオーガニックの野菜や肉を使った洗練された料理が味わえるアメリカを代表するカルナリーツーリズムのメッカでもあります。

コロラド州政府観光局

公式サイト:

<http://www.visitcolorado.jp/>

Facebook ページ:

<http://www.facebook.com/VisitColorado.JP>

Twitter:

<http://twitter.com/visitColoradoJP>

本リリースに関するお問い合わせ先:
コロラド州政府観光局 南部貴子
TEL: 042-549-1489 / FAX: 042-549-1453
E-mail: tnambu@uswest.tv